

玉田工業株式会社



代表取締役
玉田 善明

石川県
金沢市無量寺町ハ61-1

1957年(昭和32年)設立
Tel 076-267-4888

<http://www.tamada.co.jp/index.html>

鉄とFRPを複合する
独自技術で耐久性の高い
石油地下貯蔵タンクを製造

鉄と繊維強化プラスチック（FRP）を複合する独自技術により、安全性と経済性を実現した石油地下貯蔵タンクを開発。同分野で国内シェア50%以上を獲得。

規制緩和はビジネスチャンス

平成4年に、全国の同業者に先駆けて鋼板を二重にした安全性の高い「SS二重殻タンク」を製造販売。さらには、平成5年7月の消防法改正（規制緩和）により、これまで10kLの容量しか認められなかったガソリンスタンド用地下貯蔵タンクが規制緩和されたことを受け、「SS二重殻タンク（スチール+スチール）」の外殻を防蝕性の高いFRPに変え、安全と環境保全のため漏洩検知装置も組み込んだ「SF二重殻タンク（スチール+FRP）」を開発した。

「SF二重殻タンク」を作る画期的な「スプレィアップ工法」

直径2400mm長さ10mを越える鉄筒をゆっくり回転させながら、裁断したガラス繊維に樹脂を混合吹き付け2時間で仕上げる「スプレィアップ工法」の開発によって製造される「SF二重殻タンク」は、安全性の向上と製造コストの低下に繋がった。顧客の圧倒的な支持を受け、現在、国内市場（年間2,800本以上）の半数以上を同社で製造している。



SF二重殻タンク



SF二重殻タンク施工例

コア技術を活かし新規事業分野にも挑戦

石油地下貯蔵タンクの製造技術は、耐震性貯水槽や防火貯水槽にも応用され、最近では個人住宅向けの地下収納庫（デポエンジェル）などの新商品開発に繋がっている。（中部経済産業局が新連携計画を事業認定）。また、近年厳しく規制される土壤汚染防止に対応するため、危険物地下貯蔵タンクの漏油事故防止を目的としたタンク内FRPライニング事業も立ち上げ、環境保全にも貢献している。



防火貯水槽



家庭用地下
収納庫